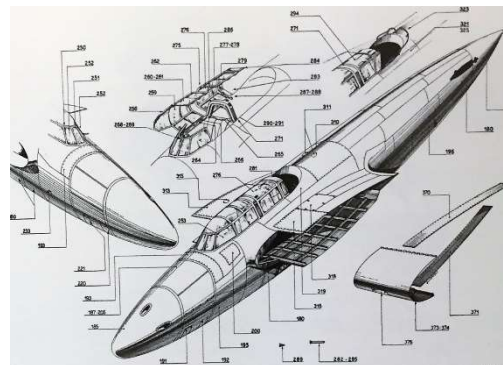


ワケ カタチには理由がある(15)

～ブレダ Breda 88 双発戦闘機



[出典 : ALI D'ITALIA 19 Breda 88]



本機は、1936年に初飛行した、第二次世界大戦のイタリア空軍の双発戦闘機です。大戦直前の一時期、世界中で双発戦闘機ブームが起りましたが、この機体はドイツのBf110(初飛行1936年)などとともに双発戦闘機ブームの先駆けとなった機体で、高速の戦闘機を目指した機体でした。これもイタリア機の特徴ですが胴体が紡錘状の側面形状を有しているため胴体後半が太く見えるためか、全体にボテッとした感じがあって、高速が出る機体に見えませんが、正面から見ると、胴体の幅が薄く、エンジンも力強く感じられて、ガラッと印象が変わります。上で示した胴体だけの構造図を見ても、そのスマートさは際立ちます。もっとも、試験飛行では良好な成績を示したものの、機首に3丁の重武装を集中させた量産機は性能が低下し、速度は時速490kmしか出ませんでした。戦前の機体とはいえ、これでは高速戦闘機とは名乗れず、また、機動性も低かったようです。リビアなどのアフリカ戦線で使用されましたが、評価は散々でした。しかし、リンチェ(山猫)の愛称とともに、どこことなく愛嬌のある外観はとてもイタリア的で、個人的には好きな機体です。

【模型について】

チェコのプラネットモデル(Planet Model)製1/72のレジンキットです。ずいぶん昔に作った作品で、胴体と翼が一体成型されていて作りやすいキットでした。後日、スペシャルホビーからインジェクションキットが発売されていますので、これから作ろうと思う人は、それを探した方が楽でしょう。



(中川裕幸 2021年4月)